

自立型人材を生み出す仕組みの検証

Consideration of mechanism to create independent personnel

田 邊 友 昭
Tomoaki Tanabe

「就業構造基本調査」（総務省統計局）によると、全就業者に占める雇用の割合は、1956年には44.3%である。2016年11月の「労働力調査」（総務省統計局）の全就業者に占める雇用の割合は、89.2%である。日本型雇用システム（新卒一括採用、定年退職、年次別管理による正社員（無期雇用社員）によるメンバーシップ重視の雇用システム）¹⁾による雇用を希望する人が圧倒的である。そのシステムにおいても自立型人材を輩出する株式会社リクルート（現 リクルートホールディングス）（以下、リクルートと称する）の制度を検証する。

キーワード： 日本型雇用システム、新卒一括採用、定年退職、リクルート、心理学的経営